

一〇二二年一月一二日

街の灯を白く濁して初時雨  
秋天を貫かんとす九輪塔  
動物の童話仕立てや菊花展  
夕映えの残る美空に月白し  
艶やかに陶と見紛ふ次郎柿  
黄落の肩に鞆に自転車に  
泥んこも何のそのとて甘諸掘  
御朱印の達筆なりし神の留守  
力なく病み臥す胸へ月渡る  
恐竜のマスクの男の子七五三

素秀

ぽんこ

はく子

はく子

素秀

むべ

こすもす

宏虎

むべ

なつき

毎週句会秀句・みのる選・一〇二二年一月一三日